

第6回市民活動支援センターのあり方検討委員会 会議概要（会議録）

平成29年12月18日（月）13時～

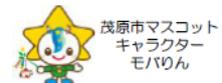
茂原市役所1階102会議室

1. 開会
2. センターの施設及び設備について、センターの運営について
3. その他

開会	（事務局 風戸）
これまでの ふりかえり	（事務局 風戸）前回のワークショップの振り返り、提言書案「センターの機能について」への落とし込みについて
アイスブレ イク	「食べ物」をテーマに、ワークショップ形式での意見交換
ワークショ ップ	テーマ「施設・備品・設備について、運営方式について、その他」（以下のとおり） ・付せんを用いたワークショップ形式での意見交換

第6回市民活動支援センターのあり方検討委員会 ワークショップ結果

ワークショップ①施設・設備・備品



多少予算がかかっても、 絶対に備えるべき施設・設備・備品	予算に余裕があれば 備えるべき施設・設備・備品	計画的に 備えるべき施設・設備・備品

1枚の付せんには1種類

【多少予算がかかっても、絶対に備えるべき施設・設備・備品（順不同）】

- 駐車場
- 会議室（小会議室 2 つを開放して大会議室に）
- 障がい者対応施設・設備（トイレ、自販機等）
- キッズスペース
- 無料 Wi-Fi（無線 LAN）
- 相談スペース
- パソコン
- プロジェクター
- コピー機
- 複合プリンター
- 大型テレビ
- 担当コーディネーター・アドバイザー等の日程表
- 地図
- 机、いす（多数）
- 組合せ可能な会議テーブル
- ついたて（オープンスペースを区切る）
- 展示パネル
- 冷暖房
- 冷蔵庫
- ファイル（戸棚）
- 団体の資料・パンフレットが置けるラック・書架
- 庁内電話（内線）
- 掲示板
- 乳幼児用設備
- おむつ替え台
- 玩具・絵本など

【予算に余裕があれば備えるべき施設・設備・備品（順不同）】

- キッズスペース（他の部屋と共用でもよい）

- 見学用・研修用の車
- 個別相談スペース
- 会議室（2室以上）
- Wi-Fi
- 利用者用のPC
- デザイン用のPCソフト
- コーディネーターとオープンに相談するスペース
- 1階に設置（障がい者等に配慮）
- 鉄製のボード
- A2サイズ用の紙が印刷できるプリンター
- 安全性を配慮したオープンスペース

【計画的に備えるべき施設・設備・備品（順不同）】

- 自由討論・交流のスペース
- 会議スペース（相談者に貸し出し）
- 市民活動団体でも使えるパソコン
- カラーコピー機
- 自動車
- いす、机
- Wi-Fi
- 書籍
- 喫茶機能付きの部屋、カフェスペース
- 販売スペース
- コーヒーメーカー、飲料水（お茶、水）
- 人材育成プログラム、研修システム
- 壁掛け大型ディスプレイ
- 検索用のパソコン
- 他地区の情報が分かる地図

ワークショップ②「運営方式」



公設公営方式	公設民営方式	民設民営方式
【黄色】 メリット	【黄色】 メリット	【黄色】 メリット
【青色】 デメリット	【青色】 デメリット	【青色】 デメリット
【緑色】 その他	【緑色】 その他	【緑色】 その他

○公設公営方式

【メリット】

- 開設がすぐできる 現段階では設置がスムーズにいく
- 管理しやすい
- 情報が取りやすい
- 金銭面で早めに解決できる 資金の心配が少ない
- 人・組織は育てるしかないが、茂原市らしいものができる
- 安定した運営
- 行政との協働提案にあたって、担当課と担当範囲が事前にわかる
- 市との連携が取りやすい
- 市の情報が伝わりやすい
- 継続性がある
- 寄附を受けやすい
- 民間企業にこちらからプレゼンするくらいしなければ？→フリーペーパー googoo、商工会議所、数団体で輪番制？

【デメリット】

- 「お役所仕事」になる
- 利用時間等が制限を受ける

- 融通がきかない恐れ
- 財政状況・人事等の影響を受けやすい
- 限られた人材になりやすい
- 民間の活動にどれだけ踏み込めるか…「公」の包容力による
- 市民からの意見が言いにくい
- 情報発信がやりにくい
- 窓口で来訪者を待つ
- 堅いイメージ 縦割りの弊害
- 時間・業務等に制限がある
- 自主性が奪われる恐れ
- 自由度が下がる恐れ
- 行政の方針に左右される（資金面や方針など）

【その他】

- 早く設置することが必要 まずは設置できる公設公営方式で
- 運営の結果・成果を求められる傾向がある
- 事業評価が必要
- 人材育成・経験不足・利用時間等の種々の制限

○公設民営方式

【メリット】

- 費用（人件費）が安い
- 相談時間が長くとれる
- 相談しやすい雰囲気
- 中間支援組織ならではの新しい視点
- 新しい取り組み 積極性 ノウハウ
- 市民からの意見を言いやすい 意見が入りやすい
- 公設公営よりも自由に動ける
- 民設民営よりも給与等が安定している
- ある程度の自由裁量がある
- 活動資金が入る

- 設置費が不要

【デメリット】

- 勤務の分担が難しい
- 施設の管理が難しい
- 民営の受託者が市から軽視される恐れ
- 行政の方針に左右される
- 公設公営に比べて、継続性が弱い
- スタッフが市の職員（非常勤特別職等）ではない
- 人件費等が必要
- 金銭面での解決が遅くなる
- 場所・予算が決められた中でどれだけ自由に情報が出せるか
- （受託した）NPO の考え方が茂原市に即しているか不安
- 公の指導で民の運営能力を育てるしかない
- 短期的な結果を求められる
- （受託した）中間支援組織によって、支援の質にばらつきがある恐れ
- 地域との融合に疑問

【その他】

- 茂原市のことをよく知っている NPO 団体があるか疑問
- センターの分室を市内各地に置いてはどうか

○民設民営方式

【メリット】

- 人件費が安い
- ゆっくり相談できる
- フレキシブルな活動が期待できる
- 市民の自由な発想・意見が言いやすい
- 自由に行動ができる
- 利用料や相談料が取れる
- 人材派遣業等の他業種の参入が期待できる
- 多くの人たちがかかわることが期待される

【デメリット】

- 施設の設置や運営が継続してなされるか疑問
- 活動が偏る恐れ
- 管理が難しい
- 中間支援組織の候補が少ない
- 入札等で事業者を選ぶので、スタッフの質が下がる恐れがある
- 活動が逆に見えにくくなる
- 運営母体の状況によっては運営が難しくなることもある
- 財政が不安定
- 人件費等に莫大な資金が必要
- 継続性に疑問
- 寄附はどうか？

ワークショップ③「その他」



- 名称について
- 認定制度との関係について
- 利用者負担について
- 飲食等について

1枚の付せんには1種類

【名称について】

- 茂原まちづくりセンター「まちびとカフェ」
- 茂原市市民活動支援センター「つながり」
- モバリんセンター
- 茂原市市民活動推進センター～私たちが市民自治によるまちづくりを目指しま

しょう～

- 理解を深めるため、センター名は市民から公募してほしい

【認定制度との関係について】

- 登録制とし、原則として登録団体は利用料無料 他は徴収
- 認定団体とその他の団体との情報の共有
- 認定の有無に関係なく施設は利用可能 補助金を受けるためには認定が必要⇒棲み分け

【利用者負担について】

- 利用料は無料
- 利用料はワンコイン（500円）程度 電気・ガス・水道・トイレ等の維持費
- 負担はコピー代のみ その他は無料 カフェは規模による
- ある程度徴収した方がよい 単位時間当たりの利用料⇒保守・点検に回す

【飲食等について】

- コーヒー、お茶等の飲み物は無料
- 有料の飲み物も置く
- 持ち込み OK とし、飲み物（コーヒー等）は 10円～50円程度の有料⇒次の補充に回す

【立地等について】

- バリアフリー
- いろいろな人が行き来する場所
- 公共交通機関から歩いていける場所
- 設置場所へのモバスのアクセスを配慮する
- 駐車場が多い
- 入口が手前にある（でもプライバシーは守られる工夫）
- 何のための場所か分かりやすい
- 1か所にとどまらず、市内の各福祉センター（6か所）にも出前
- 福祉センター6か所に「つながり」連絡員
- 立ち寄りやすい…市役所ロビー、総合市民センターロビー、図書館ロビー等
- 榎町の空き店舗を借り上げてスタートする

【その他】

- 授乳スペース
- 来場者チェックのための茂原市の地図（富里市の事例のように）
- 提言を受けて、平成 30 年度の早い時期にスタートしてほしい
- 今活動している団体をコアにして開設する方法もある
- 早く職員の募集を進めるべき
- 地域が広いので、定期的に出前相談を行う
- 情報発信は、別組織でやれないか
- 図書館をもっとにぎやかな運営にする

【ワークショップの様子】



1つのテーブルを皆さんで囲み、付せんと模造紙を使って意見交換をしました